ティーダフラッグス2019 作品一覧

作品	タイトル	載 明 文	板算工事費	氏名	商号又は社名
番号	2:11/4	WL 71 A	(千円)	大城 良介	(有)アトリエ・門口
			00.000	塩真 光	(107172-142
1	回廊の庭	休憩の「場」、活動の「場」、憩いの「場」と様々な場面に対応でき、中域公園内に新たな価値を生み出します	28,600	城間 築	
				大城 拓也	
2	混成環境出力機械	建築物を媒体として、周辺環境を感知し自然エネルギーと設備機器の混成によって、快適な環境を作り出す環境出力機械を提案する。	29,700	宮城 壮	琉球大学大学院 理工学研究科環境建設工学専攻
3	光と風のレストルーフ	中域公園の豊かな自然の中に軽やかなスロープした屋根をかける。屋根の下は木漏れ日のように光と影が生じ、風が吹き抜ける、自然と人に寄り添ういし休憩スペースの提案。	29,964	長崎 大作	一級建築士事務所 長崎設計研究所
				松田 裕介	
4	アーチ壁で繋がる休憩所	アーチ状の壁を用いて空間を分けながらつなぎ、訪れた人々が思い思いの時間を過ごせる「アーチ壁で繋がる休憩所」を提案します。	29,590	山城 博喜	studio jag1級建築士事務所
5	こどもの放牧	放牧のシステムを応用し動線、視線を操作した。公園における親子の新しい距離感の提案。	20,825	小東 凜太郎	琉球大学 工学部·環境建設工学科
	-4つの柵がもたらす開放的制御建築-			田中 貴	琉球大学 工学部·環境建設工学科
6	Coral Garden -庭を内包した縁あふれる親子トイレ-	遵具広場と響きあうアクティビティとなるランドスケーブを創出しながら、鏡子が利用しやすい公園トルを提案します。	29,700	與原 和明 渡嘉敷 真毅	建築設計室ant
7	7 / Avail // No - avit III	○延載の時間は1、一点等を1、4、4、2017年の「連絡を3が終」、八切を付出ユモデュノントは、一点をかかがよりは1、4上	20.700	佐野 達哉	(株)建築設計同人 匠才庵
7	みんなのトイレと3つの境界	3種類の境界によって定義された空間がトル機能を修飾し、公園を利用する「みんな」にとって快適な拖設を提供します。	29,700	渡嘉敷 美和子	
8	ゆくりながら。	地域から愛される公園。赤ちゃん連れも多く利用する現状を考え、安心してお子さんを連れて来られるトル兼休憩所を提業します。	29,040	皿袋 哲也 仲地 龍太	(株)m3那覇建築事務所
9	アーチがつなぐ歴史と未来	中域ドームという、この大地を形成した歴史を持つ場所に建つ建築として、遊具広場とともに、この場所の歴史にもつながっていて建築 を模束します。	29,766	二階堂 将	(有)門一級建築士事務所
10	fabric gusuku wall やわらかな城壁につつまれた遊具広場のトイレ	トルというブライベートな空間から、公園というパブリックな空間へのグラデーションをもつ、やわらかな境壁につつまれたトル。	29,997	仲本 詩織	(有)真玉橋設計事務所
11	飛棟の塔	中域公園のランドマークとなる"塔のトイル"の提案。屋根から浮き上がる棟から自然の光が差し込み、歴史的な沖縄建造物の意匠を 現代に引き継ぎます。	30,000	玉城 力	(株)根路銘設計
12	まるく囲む空間	大きな屋根の中央にトルをまとめ、周囲を回避できるあまはじ空間とペンチを提案します。	29,700	比嘉 義国	(株)NDアーキテクトン
13	展延するパブリックアクティビティー -個室から群室へ-	トルの主目的である掛せつと手洗いの機能を保らつつ、各機能に対応する要素から生まれる耐次的行為を許容する領域を提業する。 5.	29,700	長谷川 清人	琉球大学大学院 理工学研究科環境建設工学専攻
14	滑って潜って囲って眺める	子供の年齢や親子の状況によって変化する、子供の見守り方に対応し、休憩しながらも子供が週べる休憩スペース兼トルです。	29,930	松本 岐成	ファイブディメンション
15	丘の上の休憩所	丘の傾斜を活かした、階段広場とトル施設。2枚大屋根で日射を有効に適り、木陰のような空間を計画しました。	29.700	仲本 昌司	(株)ADeR
	TENTENHOLIS	ANTONIO DE LA CAMPACE EL POSSO, DIA CAMPACE A SISTEMA (NEVA PAR MESTI DE CACES	20,100	金城 聖来	
16	歴史のなかに、	中域域跡をモチーフにし、意識的、無意識的に沖縄の歴史や世界遺産の存在とそれを包む自然を感じながら利用して欲しいです。	29,920	山城 紹平	(株)泉設計
				山本 準也	(株)クレールアーキラボ
17	おおやね といれ	誰もが安心して休息できるトルを計画しました。外周部のエキスパンドメタルとランダムな木枠が、遊具のような楽しげな表情をつくります。	29,700	西本 慎一郎	
		7 0		LINGCO DARWIN DE TORRES	
				宮城 真理奈	(本) 非许净领 审难 %
18	伸び上がりのあるトランポリン遊具広場のトイレ	響き渡る仲び上がるこども達の笑い声。見守る優しい視線 そんな暖かな雰囲気に包まれる公園に、安全に快適に使えるトルを提案 します。	27,500	小濱 寛貴	(有)東浜建築事務所
19	3枚屋根の拠り所	3つのエリアに3枚の屋標。各々の楽しみを手助けしつつ人々が寄り付く中心となる建築を提案します。	29,810	國定 義弘	studio jag1級建築士事務所
20	Curved Wall	自面を使い、この土地の雰囲気や場所性、地形も含めて寄り添う形で構成し、わくわくするようなトルと体態所を兼ねた建築物を提出した。	29,700	大城 彦樹	久友設計(株)
		楽します。		比嘉 大介	
				村上 由香里	(株)エー・アール・ジー
21	ククル・ユクル・トゥクル	沖縄の自然・歴史を感じながら訪れる人たちが心安らく場を創造する	29,700	仲村 典	
22	自然に活かされる空間	沖縄の豊かな自然の中から光・影・風という環境要素をピックアップし、それら環境要素と人々の間を取り持つ休息所付きの公共トイ	29,625	宮城 香仲川 凜	琉球大学大学院 理工学研究科環境建設工学専攻
				城間 盛久	(株)国建
23	樹に宿る休憩所	1本の樹を依り所に人々が集い、憩い、語り合うための、生きている縁に宿るための環境を計画します。	29,700	新田 武志	
24	新たな賑わいを生む「ひとつながりの強」	「訪れた人々を迎え入れ、新たな賑わいを生む憩いの場」と「挟適で誰でも利用しやすいトル」を提案します。	29,590	天久 日向子	studio jag1級建築士事務所
25	みんなのオウチ みんなのトイレ	子供から高齢者まで一緒に使用できるオウチみたいない小です。三角屋様と赤と白のコントラストがアイキャッチ。各ブースを広(取り、ベビーベッドを微す、子供達れの変換が一緒に入れます。	29,865	新垣 朝憲	(株)エーアンドシーワークショップ
26	木漏れ日ラウンジ	トル機能と程よく距離を保ち、心地よい木漏れ日の中でゆるりと過ごし、隙間からは子供たちの存在を身近に感じることができる場所。	29,859	森本 朋也	久友設計(株)
27	森にうかぶ雲のなかみち	雲は厳しの影が落とし、大地を洗う。そのことから休憩所・トルのモチーフとした。薄いパネルを使った雲のルーフは自然のリズムをもって樹木や景色と呼応するかたらとした。	29,980	平良 和礼	(株)渡久山設計
28	折れ板の屋根	数地に馴染む形状の大屋標の下の休憩所と、靴を脱いでデッキに上が3室内トル。赤瓦と直交集成材で、赤瓦と木造の伝統建築 を現代的に再解解礼ます。	29,700	山口 瞬太郎 佐々木 幸史郎	(株)山口瞬太郎建築設計事務所
				平田 寛 五十嵐 敏恭	
29	じゃばらの隙間から・・・	建物・自然・人が一体となるよう空間を交互に配置し、避具で全力で遊んだ子供やそれを見守る観達が一息つける店場所の提案。	29,500	又吉亨	(有)アドノエ・門ロ
30	アトリウムを経て	考えた結果、内部空間のある公衆トルにはアドリウム空間がなければならないという結論に至った。 今後業がアドリウムトルの出発点となることを期待する。	29,727	安谷 岳	琉球大学環境建設工学科
31	自然と歴史を繋ぐ「共生空間」	自然、歴史、文化を基本方針にしている中域公園にて、文化である赤瓦や敷地内にあるトランポリンをモチーフにした作品	12,652	小浜 惠一	沖縄県職業能力開発大学校 住居環境科
32	Diverse space	中域公園における発展としての多様性のあるトルを提案します。	29,997	儀間 達紀	琉球大学 工学部·環境建設工学科
			l	1	